

# 必見！内定者が選考を通して意識していたこと

こんにちは！

チーム「関東居住者」です！

就活生の皆さんいかがお過ごしですか？秋も深まり、段々と季節の移ろいを感じる頃ですね。体調を崩しやすい時期ですので、お気をつけてお過ごしください！さて、今回は2025年卒内定者が書類選考・面接選考に望むにあたり準備したこと、意識していたことをご紹介します。就職活動の集大成でもある本選考が始まる前のこの時期は、選考全般に不安を感じている方が多いと思います。ぜひ参考にしてみてください！



まず、エントリーシート（ガクチカ・志望動機）を書く際に私たちが意識していたポイントをご紹介します！

### (1)情報の取捨選択を適切に行い、論理的で分かりやすい文章を書くよう心掛ける

当然のことではありますが、つい忘れてしまいがちなことではないでしょうか。数百文字という字数制限の中では、盛り込みたい全ての情報を記入できるわけではないと思います。記載すべき最低限の内容をピックアップし、さらに余裕があれば情報を追加するという順序で書き進めることで、余計な情報がない文章を構成しやすくなります。こちらは志望動機でも同様です！こまめに確認を繰り返していきましょう。

### (2)1、2文目に自身のエピソードを一言でまとめる言葉を入れる

新卒採用の選考に携わる企業の方は、1日に膨大な量のエントリーシートを読みます。ガクチカの1、2文目にご自身のエピソードを一言でまとめる言葉を入れ、例えば「～の人」と選考してくれる人の印象に残ることができれば、より正確に自身のエピソードを理解してもらいやすくなります。その結果、自ずと選考にも通過しやすくなるように思えます！

### (3)1つのエピソードについて細かく記載する

決して多くない限られた字数の中では、複数のエピソード・経験を記載するのではなく、1つのエピソード・経験について細かく記載することで、自分自身をより正確に表しやすくなります。当然のことながら、エピソードや経験の概要だけでなく、取り組んだ動機、当時の目標、取り組む思い等にもしっかりと字数を配分し、面接前の段階で自らの人となりをアピールできる文章にすることが重要です。



(1)どのような想いでその会社を志望しているのかを一言目に記載する

「自身が持つ想い」は、志望動機の軸になります。

志望動機では、

<1> 「何を成し遂げたいがゆえにその会社を志望しているのか」

↓

<2> 「その想いが生まれたきっかけとなる経験や出来事」

↓

<3> 「志望する会社でこそ、その想いを実現できると考える理由」

これらの構成をもとに記載すると、まとまりがあり、かつ簡潔に伝わりやすい志望動機を書くことができます。<3>の部分で会社・業務への理解度の高さを示すことができれば、なお良しです！

ここで、私が実際に三菱UFJ信託銀行の本選考時に提出した志望動機の一部を皆さんに公開します。前述したポイントを実際に形に起こしたものになりますので、ご参考になれば幸いです。

**「社会全体の根幹をなす、世の中のインフラサービスの提供に携わる」という志を実現したく貴社を志望する。**

・・・<1>自分は、こういった想いでその会社を志望しているのか

大学ヨットクラブでは主将として部を牽引する中で、部員が役割を持ち、役割を果たすべく挑戦を続けられる環境を作ることに大きなやりがいを感じてきた。

こうした経験から、今後は企業や人々が実現を望む事業に挑戦できる環境や基盤を作り、さらにその挑戦に伴走できる事業に携わりたいと考える。

・・・<2>想いが生まれつききっかけとなる経験

特に、幅広い金融商品を通じ「お客さまに伴走しながら、その事業基盤を構築、最適化する」役割を持つ信託銀行、その中でも総合金融グループに属するからこそお客さまの要望に徹底的に応えられ、お客さまの活動におけるインフラとしての役割が期待される貴社を志望する。

・・・<3>この会社でこそ、私自身の想いを実現できると考える理由

以上の書き方はあくまでも一例です。本選考に向け、志望動機の書き方に不安がある方はぜひ参考にしてみてください！

## (2)志望する会社が、社会においてどのような役割を持つと考えるか一言で言語化する

先ほどの私の志望動機であれば、「お客さまに伴走しながら、その事業基盤を構築、最適化する」役割を持つ信託銀行、その中でも総合金融グループに属するからこそお客さまの要望に徹底的に応えられ、お客さまの活動におけるインフラとしての役割が期待される貴社の部分になります。

自身の持つ想いを実現するために、なぜその会社を選ぶのかを分かりやすく伝えるための手段として、ぜひご紹介したポイントを踏まえてエントリーシートを書いてみてください。

私のものはあくまで参考程度にしつつ、インターンシップやOB訪問、各種メディア等を通じて得た情報をもとに、言語化してみましよう。自分の想いを実現するために、なぜその会社でないといけないのかを簡潔に伝えられるといいですね！



## 面接選考について

就活生の皆さんの中には、面接に対して大きな不安を抱いている人も多いのではないのでしょうか？このブログを書いている私自身も、就活生時代はそう感じていました。面接はエントリーシートだけでは伝えられない、我々の魅力をアピールする絶好の場です。チャンスを逃さず、良い結果を残すためにもしっかりと対策を練る必要があります！そこで皆さんに、面接に臨むにあたり意識すべきことを4つここでご紹介します！

### (1)話す際の表情や声のトーン

人の第一印象は3秒で決まると言われているように、視覚・聴覚情報は非常に大切であり、面接官の就活生に対する印象も面接が始まってすぐに決まってしまうこともあります。もちろん第一印象がすべて、とは言い切れないものの、面接を行う上で第一印象の良さが面接官に与える影響は大きいものであると思います。そのため、自信を持って明るくハキハキと話すことが何よりも重要です！

自信を持って話すことで、魅力が増し、相手に話の内容が伝わりやすくなります。

### (2)結論ファースト

多くの就活生にありがちなのが、過程から話そうとすることです。

面接官はエントリーシートに記載してある内容しか知らないため、自分本位に話しても全く話の内容が伝わらないです。自分が話を聞く立場になった時に、どういう言い方が最も伝わりやすいか考えて話を組み立てる必要があります。

また、1回の発言があまりにも長くならないように、面接官との対話を意識して話すことで面接官も話を理解しやすくなり、自分が聞いて欲しいことをどんどん深掘りしてくれる確率が高まります！



### **(3)深掘りされることを想定して自分の考えを予めまとめておく**

面接では面接官によって深掘り方が多種多様で、予想できない質問も多く出てきます。そのため、面接で聞かれそうな内容に対しての回答しか準備していないと、予想外の質問が飛んできた時に冷静に対応できない可能性があります。このような予想外に対応するために、これまで自分が行った行動に対して「なぜ」を追求していくことで、どんな質問が来たとしても臨機応変に答えることが出来るようになります。

### **(4)雰囲気押し潰されすぎず、落ち着いて話す**

自分が想像している以上に面接中は緊張して早口になりがちです。

そのため、落ち着いてゆっくり話すことが大事です！また、毎日エントリーシートの記入や、面接をこなす繰り返しになると思いますが、いわゆる「就活マシン」にはならないように、定期的に気晴らしをすることも大切です！就活以外のことも適度に行い、今しか出来ない経験を積むことによって、面接で自分が話す言葉に重みが生まれると思います。

皆さんもこの4点を意識して面接に挑んでみてください！

## **最後に**

最後まで記事を読んでいただきありがとうございます。「必見！内定者が選考を通して意識していたこと」はいかがだったでしょうか。最後まで読んでくださった皆さんの就職活動に、本記事およびこれまでの記事の内容が少しでも参考になれば大変嬉しいです。就職活動に正解はありません。限られた時間の中で皆さんが悔いの残らない就職活動をしていただけるよう、チーム一同心から応援しています！

**最後まで読んでいただきありがとうございました！**